

平成27年度
事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

社会福祉法人 東京福社会

I 平成 27 年度の経営環境と事業の概況

1 平成 27 年、東京都の高齢者人口は 296 万 6 千人となり、対前年比 7 万 2 千人の増加となった。高齢化率は 22.9%となり、前年と比べて 0.4 ポイント上昇し、過去最高を更新した。

このうち、75 歳以上の後期高齢者は 141 万 9 千人で、対前年比 4 万 6 千人の増加となった。

認知症高齢者や虚弱な高齢者が急増しており、利用者 1 人ひとりのニーズにあったサービスの提供などケアの専門性や多様性ととともに、地域と連携した支援が求められている。

東京都内の年間死亡者数も増加の傾向にあり、葬祭業者が増加する一方、葬儀の小規模化、簡素化が進み、葬祭事業を取り巻く環境は一層厳しさを増している。

また、社会福祉法人制度の改革等を内容とする社会福祉法等の一部を改正する法律が成立した。

2 このような状況のなか、今後も社会福祉法人としての使命と社会的責任を果たしていくため策定した「経営戦略 5 か年計画」の 2 年目にあたる平成 27 年度は、プラスワンサービスの更なる充実、事例研究に基づく葬儀プランの提案、葬儀と納骨をセットにしたプランの提供、特養におけるケアの充実や地域との連携強化等に取り組んだ。

3 葬祭部門の事業実績は、施行件数は 4,636 件と前年度を 8 件上回ったが、事業収入は 26 億 3,404 万 8 千円となり、前年度を 7,316 万 2 千円下回った。

事業別の件数をみると、助葬事業は、3,076 件、対前年度比 73 件の増加で、昨年度に続き 3,000 件を超えたが、公益事業は 1,560 件となり、前年度を 65 件下回った。

4 高齢福祉部門においては、利用者個々のニーズや心身の状況を踏まえた個別ケアや、看取り介護など専門的ケアの充実に努めた。

利用者の虚弱化により入院患者が増加し、特養利用率は 94.2%であったが、ショートステイの積極的な受け入れを行うことで、全体で 97.1%の入所率を確保した。

また、積極的に地域との交流活動を展開した。

5 法人全体のサービス活動収益は 39 億 1,227 万 6 千円、当期活動増減差額は 3 億 7,360 万 3 千円となった。

Ⅱ 主要事業の事業実績

1. 葬祭部門

(1) 助葬事業

施行件数：3,076 件 (目標達成率 99.8%)

事業収入：635,452 千円 (目標達成率 100.0%)

助葬事業取扱状況

(単位：件／千円)

区分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
27年度	3,083	635,304	3,076	635,452	99.8%	100.0%
26年度	3,000	603,000	3,003	618,526	100.1%	102.6%
差異	83	32,304	73	16,927		
前年度対比	102.8%	105.4%	102.4%	102.7%		

※平成26年5月葬祭扶助基準の改正(基本料金201,000円→206,000円)

斎場別内訳

(単位：件／千円)

区分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
道灌山会館	92	19,053	88	20,717	95.7%	108.7%
江古田斎場	2,467	508,284	2,457	507,183	99.6%	99.8%
ホール多摩国立	524	107,967	531	107,552	101.3%	99.6%
合計	3,083	635,304	3,076	635,452	99.8%	100.0%

助葬事業の主な取組み

①福祉事務所等への渉外活動

営業専門スタッフが都内の福祉事務所等を定期的に訪問し(年間368件※過去3年の実績を精査)、事前相談や生前契約、東京福祉会の強みである納骨堂のPRをしたほか、可能な限り公益事業の案内も行った。

また社会福祉協議会に対しては、無料で葬祭セミナーを開催できることをPRした。

②特別養護老人ホーム等への渉外活動

特別養護老人ホームからの葬儀依頼が年々多くなっているため、既存施設は年2回の訪問を行うとともに、新規開設施設への渉外活動を積極的に行った。

また、有料老人ホームへの渉外活動も行い、訪問件数で対前年180件の増加となった。

③病院への渉外活動

昨年度より強化している多摩地域の病院への渉外活動を引き続き行い、訪問件数は159件の増加となった。

社会福祉法人が実施する助葬事業の特徴等を説明し理解を広めることができた。

④警察署への渉外活動

平成25年度から強化した警察署への渉外活動に今年度も取組み、延べ186件の訪問を実施した。

助葬事業渉外活動訪問先別件数

区分	福祉事務所	特養 関係団体	病院	警察署	合計
27年度	368	1,192	473	186	2,219
26年度	422	1,012	314	168	1,916
差異	△54	180	159	18	303

訪問時には助葬事業のPRのほか、納骨堂のご案内、遺品整理の資料、福祉会日より等を合わせて持参し公益事業のPRも積極的に実施した。

(2) 公益事業

施行件数：1,560件 (目標達成率90.3%)

事業収入：1,998,596千円 (目標達成率88.8%)

1件単価：1,281千円 (26年度1,285千円)

公益事業取扱状況

(単位：件/千円)

区分	事業計画(目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
27年度	1,727	2,250,904	1,560	1,998,596	90.3%	88.8%
26年度	1,710	2,228,420	1,625	2,088,685	95.0%	93.7%
差異	17	22,484	△65	△90,088		
前年度対比	101.0%	101.0%	96.0%	95.7%		

斎場別内訳

(単位：件/千円)

区分	事業計画(目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
道灌山会館	515	582,269	466	525,635	90.5%	90.3%
江古田斎場	1,075	1,556,614	949	1,372,304	88.3%	88.2%
ホール多摩国立	137	112,021	145	100,658	105.8%	89.9%
合計	1,727	2,250,904	1,560	1,998,596	90.3%	88.8%

※1. 道灌山会館の施行件数には、日本歯科大から依頼の献体火葬(直葬)を含む

※2. 江古田斎場の売上高には、単品の生花を含む

斎場別1件単価(飾り葬儀)

(単位：件／千円)

区分	事業計画(目標)			事業実績			目標達成率		
	件数	売上	平均単価	件数	売上	平均単価	件数	売上	平均単価
道灌山会館	390	547,644	1,440	344	497,548	1,446	88.2%	90.9%	100.4%
江古田斎場	934	1,516,014	1,610	795	1,304,595	1,641	85.1%	86.1%	101.9%
ホール多摩国立	97	101,361	1,056	85	77,798	915	87.6%	76.8%	86.7%
合計	1,421	2,165,019	1,524	1,224	1,879,940	1,536	86.1%	86.8%	100.8%

※日本歯科大献体火葬および慰霊祭分は道灌山会館に計上

※単品生花、搬送、単品売上は含まない

公益事業の主な取組み

1) 個人別目標の設定

各斎場において個人別目標を設定し、祭壇のワンランクアップやオプション品の販売促進を図った。

また、道灌山会館においてはチーム制を導入して、情報共有による提案力の向上や目標達成意識の向上を図ったが、江古田斎場においては取組みが十分とは言えず、全体として個人別目標の達成者は3割に止まった。

2) 葬儀のクオリティの向上

① プラスワンサービスの提供と更なるサービスの充実

遺族との限られた打ち合わせ時間の中、故人の遺志、遺族の意向を伺いながら、故人が好きだった物を用意したり、メモリアルコーナーを設置するなど「プラスワンサービス」の充実に取り組み、お客様に満足していただけるサービスの提供に努めた。

この成果を継続的に活用できるよう「プラスワンサービス」の事例集を作成した。

実施件数：613件 (飾り件数の50%)

② 葬儀情報の共有によるサービスの向上

各斎場において毎月1回のミーティングの中で、事例研究会を開催し、「プラスワンサービス」の事例集、お客様アンケートをもとにお客様の要望や評価等を共有しサービスの向上に努めたほか、葬儀終了報告書をもとにヒヤリハット事例を共有し、同じことを繰り返さないよう徹底した。

③ 納骨プランの販売促進

渉外部を中心に特別養護老人ホーム、社会福祉協議会、病院等を訪問の際、納骨プランのPRを実施するとともに、葬儀の打ち合わせ時にお渡しする帳票類の中にパンフレットを同封するなど、受注件数の増加に努めた。

27年度実績 156件

26年度実績 136件

④新しい葬儀プランの商品化

オリジナル会葬礼状の商品化等、オーダーメイドの視点を織り込んだ葬儀の商品化を進めたが、お客様がデザインするオリジナル生花祭壇は試行に止まった。

また手元供養壺を提供する納骨プランの販売を行った。

3) 全員参加の渉外活動

①地域とのつながりの強化

各斎場において、広報の重点地域を設定しポスティング等の広報活動を重点的に実施した。

また社会福祉協議会、社会福祉事業団等の要望に応じて無料で「終活」をテーマにしたセミナーを提供できることを提案し5回実施した。

地域への働きかけとして各斎場において、「友引寄席」「展示・相談会」を実施したほか道灌山会館では、新築10周年に合わせ昨年引き続き感謝祭を実施、地域の幅広い年齢層の方々と交流した。

実績状況(参加者数)

区分	道灌山会館		江古田斎場		ホール多摩国立	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
展示・相談会	3	59	6	285	1	14
友引寄席	2	330	4	710	3	140
感謝祭&ファミリーコンサート	1	240				
合計	6	629	10	995	4	154

②会友Bプラン新規加入者数1,000人を目指した取り組み

平成27年度も、会友Bプラン新規加入者数1,000人を目標に、東京福祉会だより、ホームページ、ダイレクトメールでの案内などPRを実施したほか、個別訪問を実施し会友加入者獲得に努めたが、今年度は533人の実績に止まった。

③広報の充実

リニューアルしたホームページを活用し、展示相談会、わの会、感謝祭等各種イベントの告知を行ったが、新葬儀プラン、返礼品の拡充等、新商品の紹介は十分でなかった。

一方、法人としての活動状況をリアルタイムに公表することを心がけ、社内研修の様子や社会貢献活動への取り組み、認知症ケア学会への発表等の情報を定期的(月2~3回程度)に発信し、「顔の見える法人」として積極的に法人サイトへ公開した。

④ CSR（組織体の社会的責任）の取り組み

グリーンワークの一環として、カウンセラーのお話を交えながら遺族同士が自由に語り合える場「わの会（『和の時』『話の時』）」を計12回実施し延べ319名の参加者があった。

社会貢献活動の一環として、26年3月まで使用していた制服約200着を自立支援センター（足立寮・台東寮・目黒寮）へ寄贈した。寄贈した制服はセンター利用者の就労のためのスーツとして再利用されている。

（3）霊園事業

霊園事業 事業収入の状況 (単位:千円)

区分	事業計画(目標)	事業実績	目標達成率
27年度	118,910	123,539	103.9%
26年度	115,000	117,499	102.2%
増減	3,910	6,040	
前年度対比	103.4%	105.1%	

平成27年度の霊園事業の事業実績は、平成26年度と比して6,040千円の増となった。納骨堂をセットにしたプランのPRの効果もあり、供養収益等の増にとまなうものである。

27年度永代供養料 36,539千円

26年度永代供養料 33,495千円

2. 高齢福祉部門

特別養護老人ホームの利用実績

区分	特養	ショートステイ	特養 + ショートステイ	一般 デイサービス	認知症 デイサービス	一般+認知症 デイサービス	居宅介護支援	
練馬高松園	事業計画(目標)	96.6%	108.1%	98.2%	94.0%	70.0%	87.1%	80件(月)
	27年度	94.4%	119.6%	97.4%	81.3%	65.6%	75.8%	75.7件
	26年度	95.9%	114.2%	98.0%	86.8%	66.5%	81.1%	87.9件
	前年度対比	98.4%	104.7%	99.4%	93.7%	98.6%	93.5%	86.1%
第2練馬高松園	事業計画(目標)	96.6%	108.1%	98.2%				
	27年度	93.9%	114.6%	96.7%				
	26年度	94.7%	112.8%	97.2%				
	前年度対比	99.2%	101.6%	99.5%				

（1）個別ケアの更なる充実

個別ケアカンファレンスには、利用者本人及び家族の積極的な参加を得て、個

別ニーズの把握や相互理解の促進に努めた。ふれあいツアー、誕生会、買い物レクリエーションなど心身状況を考慮した個別ケアにより生活の充実を図った。

また、生活リハビリ・機能訓練による園内生活の充実及びソフト面の充実を図るため専門家による音楽療法を実施した。

(2) 専門的ケアの充実

認知症高齢者のケアを一層充実するため、職員の認知症ケア専門士資格取得を推奨し6名が合格した。

また、看取り介護においては、利用者の意思や家族の意向を尊重し、嘱託医・協力病院との連携を密に実施した。

実施件数：練馬高松園 13名・第2練馬高松園 4名

(3) 施設の安心・安全な運営

介護中の事故ゼロを目指し、事故防止委員会を定期的で開催した。事故要因の発生原因等を分析し対応策を検討、対応策の検証を通じて介護中の事故減少を目指し取り組んだ。

また、感染症・食中毒の研修を実施し職員の意識向上に努めた。

(4) 人材育成の強化

練馬高松園・第2練馬高松園合同の研修委員会を設置し、認知症ケア研修、褥瘡予防に係わる研修等を両園合同で計18回実施した。

また、昨年度に引き続き9月より介護初任者研修を開講し、22名の受講者に対して研修を実施し全員が修了した。(修了者1名が介護職として勤務)

(5) 施設の一体的運営の促進

災害時の避難用通路並びに日常的な連絡通路として、練馬高松園・第2練馬高松園を繋ぐスロープを設置し日々活用している。

練馬高松園・第2練馬高松園合同で地域貢献の一環として、近隣小学校と連携し小学生と利用者の交流会を6回実施したほか、地域開放型喫茶室「まつぼっくりサロン」を12月から毎月1回実施している。

3. 自立支援事業の実施

東京都、特別区、自立支援センター等と連携し、路上生活者の地域生活のための住宅を借り上げ、管理する事業を行っている。

利用者数は徐々に減少し、また若年化の方向にある。

借上げ住宅 利用状況

平成28年3月末現在

項目	台東寮 (有隣協会)	足立寮 (新栄会)	合計
借上げ戸数	50戸	50戸	100戸
在所者数	20名	15名	35名
平均在所日数	65日	61日	63日
平均年齢	46歳	47歳	47歳
無断退所数	2名	3名	5名

4. 組織・経営基盤の強化

(1) 経営戦略5か年計画の着実な推進

計画事業21事業のうち15事業が検討を終え通常業務として実施されている。残る6事業についても進行管理を徹底し、着実に遂行していく。

(2) 社会福祉法人制度改革への的確な対応

改正法案審議動向に注目し情報収集を行った。改正法成立により平成28年度に一部実施、29年度に本格実施されるため、今後も政省令等の情報収集に努め、定款変更、新役員等の選任手続き、会計監査人の設置、社会福祉充実計画の策定等に的確に対応していく。

(3) 経営企画機能の強化

総務経理部が積極的に関わって、練馬高松園・第2練馬高松園を含む法人全体の人材確保（新規採用・中途採用）、研修（人材育成）、大規模修繕などを進めた。

総務経理部は、法人の中核として経営企画機能を発揮し、重点事業の推進や葬祭部門・高齢福祉部門の連携強化等に取り組んでいく。

(4) 人事給与制度の強化

業績評価をしやすくするため、シートの評価項目を簡素化した。

「目標管理シートの提出」及び「賞与前、年度末の3度の業績評価」、「異動のための自己申告」と作業量が増えているため、少ない作業量で済むよう28年度見直しを行う。

(5) 事業継続計画（BCP）の策定

これまでの防災計画や災害備蓄計画を見直すとともに、各事業所において自衛防災訓練を近隣住民と合同で実施した。

災害発生時、必ず実施すべき事業と休止すべき事業を明確にし、職員の参集計画、車両や資機材の確保等を定めた事業継続計画（BCP）を策定した。

重要データの外部流出や紛失を防止するため、サーバーごと、耐震防災対策やセキュリティ対策を講じてあるデータセンターに移行した。

(6) 経費削減の徹底とリサイクルの推進

自社所有の霊柩車（寝台車）の稼働率向上をはじめ、各事業所において光熱水費の削減に努めた。

5. 法人全体の財務状況

平成27年度における事業活動増減の状況は、サービス活動収益は3,912,276千円で、前年度に比して90,027千円の減となった。サービス活動費用は3,482,553千円で、前年度に比して117,292千円の減となっているが、注1に記載してある通り26年度は法人税等がサービス活動費用に含まれていたことから、これを差引くと44,613千円の減となる。

当期活動増減差額(⑥)は373,603千円で前年度に比べ31,423千円の減となった。

事業別 事業活動増減の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：千円)

項目	27年度								26年度	増減 A-B
	法人合計 A	本部	葬祭事業	自立支援 事業	練馬高松園	第2練馬 高松園	聖恩山霊園	法人合計 B		
サービス 活動 増減	収益	3,912,276	0	2,675,642	91,393	630,969	390,733	123,539	4,002,304	△90,027
	費用	3,482,553	53,963	2,249,718	90,605	621,913	380,155	86,198	3,599,845	△117,292
	増減差額①	429,724	△53,963	425,924	788	9,056	10,578	37,342	402,459	27,265
サービス 外 活動 増減	収益	24,537	0	11,286	0	4,732	4,175	4,344	21,105	3,432
	費用	13,682	0	0	0	3,777	8,405	1,500	13,161	520
	増減差額②	10,855	0	11,286	0	955	△4,230	2,844	7,944	2,911
経常増減差額③(①+②)	440,579	△53,963	437,210	788	10,011	6,348	40,185	410,403	30,176	
特別 増 減	収益	250,223	178,363	561	1	9,925	7,602	53,771	260,050	△9,827
	費用	256,704	3,272	231,654	0	15,528	3,750	2,500	265,428	△8,724
	増減差額④	△6,481	175,091	△231,093	1	△5,603	3,852	51,271	△5,378	△1,103
法人税、住民税及び事業税⑤	60,495	0	60,495	0	0	0	0	0	60,495	
当期活動増減差額③+④-⑤	⑥ 373,603	121,128	145,621	789	4,408	10,200	91,456	405,026	△31,423	

注1. 26年度サービス活動費用は、法人税、住民税、事業税計72,679千円が含まれているため、これを差引くと△44,613千円となる。

注2. 千円未満四捨五入のため合計等が一致しない場合がある。

事業別 資金収支の状況(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：千円)

項目	27年度 決算								27年度予算	差異 B-A
	事業合計 A	本部	葬祭事業	自立支援 事業	練馬高松園	第2練馬 高松園	聖恩山霊園	事業合計 B		
事業 支 活動	収入	3,934,103	0	2,686,928	91,393	635,701	394,908	125,173	4,216,592	282,489
	支出	3,407,619	45,213	2,231,822	90,470	605,035	362,255	72,824	3,557,371	149,752
	収支差額①	526,484	△45,213	455,106	923	30,667	32,653	52,349	659,221	132,737
施設 等 収 支	収入	13,400	0	0	0	9,650	3,750	0	13,250	△150
	支出	174,778	0	75,014	0	57,922	36,555	5,288	215,170	40,392
	収支差額②	△161,378	0	△75,014	0	△48,272	△32,805	△5,288	△201,920	△40,542
活動 そ の 他 収 支	収入	519,260	181,635	134,716	127	25,275	3,643	173,863	216,895	△302,365
	支出	883,842	136,422	372,244	126	0	0	375,049	579,924	△303,918
	収支差額③	△364,581	45,213	△237,528	1	25,275	3,643	△201,186	△363,029	1,552

注1. 千円未満四捨五入のため合計等が一致しない場合がある。